

H31 年度 看護栄養学部看護学科 専門総合・社会人入試 小論文

解答例

問 1

図表 1 に挙げられた職業の特徴は、必ずしも個々人に特別な知識やスキルが求められず、秩序的・体系的な操作が多くを占めることから、比較的プログラミングなどが容易で人工知能やコンピューターによる一層の効率化が望めることにあるのではないかと考えた。

一方、図表 2 に挙げられた職業は、その職務を遂行するために、個々人に専門的知識や特殊な技能、新たな価値を生み出すような創造力が求められると考える。例えば、教員などは、人を理解して育てていくための専門知識やコミュニケーション能力が必要となる。また、メディカルスタッフも、複雑で多様な人や状況に合わせて柔軟な判断が求められる。芸能・芸術では豊かな感性を体現や表現し、作家・作曲家・プロデューサーなどは新たな作品を生み出すための哲学やクリエイティブな能力も必要となる。しかし、今後の人工知能の更なる進化によっては、代替あるいは効率化が可能なることも出てくると予測される。

(399 文字)

問 2

問 1 の結果から、人工知能に代替可能な職業と、そうでない職業の特徴を受けて看護師の仕事を考えてみると、私は図表 2 の人工知能に代替可能性の低い職業の中に入るのではないかと考える。

その理由として、看護師は、適切な他者理解や高いコミュニケーション力を用い、高度な専門的判断を求められる職業と考えるからである。看護の対象となる「人」は、健康に関わる身体的な問題のみでなく、心の問題や家族の問題を有し、個別の価値観やニーズをもつ複雑な存在である。看護師は、そのような人々に対し、コミュニケーション能力を使い相手を理解し、看護の視点から医学・心理・社会等の知識を統合し、対象となる人々の健康に向けた支援を判断し提供していかなければならない。また近年は、多職種連携が求められ、協働に向けたコミュニケーション能力も必要である。以上のことから、看護師には人工知能やロボットに代替が難しい側面を含む職業に入ると考えた。

(399 文字)